

小学生プログラミング県大会 最優秀賞に伊藤君(岐阜聖徳学 園大付属小)



最優秀賞の伊藤紬記君(右から5人目)ら＝岐阜新聞本社

全国選抜小学生プログラミング大会県大会の最終審査会が17日、岐阜新聞本社で開かれ、岐阜聖徳学園大付属小学校3年生の伊藤紬記君(9)の「ステ☆みらい」が最優秀賞に選ばれた。3月に東京都で開かれる全国大会に出場する。

岐阜聖徳学園大DX推進センターなど主催。「みんなのみらい」をテーマにプログラミング作品を募集し、理想の未来をつくるためのアイデアが詰まった作品が集まった。

最終審査には1次審査を通過した伊藤君と3チームが出場し、それぞれ作品を



最優秀賞を獲得した伊藤紬記君の作品の一場面

発表。審査員からの質疑応答もあり、開発の意図や発想のきっかけを説明した。

伊藤君は、目標を達成するためのスケジュール管理アプリを開発。デザインした人工知能(AI)キャラクターとともに交換日記や写真撮影もできるように工夫した。伊藤君は「人間とAIが仲良く暮らしている世界を目指して作った」と話した。

審査員を務めた同大の芳賀高洋DXセンター長は「こんな未来をつくりたい

という発想が評価につながった」と講評した。

(市原萌子)

その他の入賞チームは次の皆さん。

▽岐阜聖徳学園大賞 ホタカ & アオバ▽岐阜新聞社賞、柳小
プログラミング4人組、サッカー大好きプログラミング隊